

出張報告書

令和 4 年 7 月 8 日

会派名 志誠会
会長 立崎 聡一 様

出張者氏名 近藤 憲治

下記のとおり出張したので報告します。

記

出張期間	令和1年7月5日(金) ～ 令和1年7月6日(土) [2日間]						
出張概要	①	月日	7月5日	市町村名	東京	会場	東京・銀座
		目的	国政動向調査&ヒアリング				
		テーマ	・政治評論家を交えた国政動向に関する調査				
	②	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
	③	月日		市町村名		会場	
		目的	移動日				
		テーマ					
	④	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
所見	別紙のとおり						
備考							

※所見については、別紙(任意様式)で作成して下さい。

国政動向調査&ヒアリング（東京）

網走市を前へ進めていくためには、国政の現状と先行きについて多様な視点から情報を集め、より精度の高い見立てを構築していく必要がある。今回は、政治ジャーナリスト大下英治氏から国政の状況と展望について少人数でじっくりと伺う機会を得た。大下氏は著書「ふたりの怪物 二階俊博と菅義偉」を上梓されたばかりであり、いわゆる「ポスト安倍」を巡る動向を中心として情勢分析を見せてくれた。東京オリンピック・パラリンピック 2020 を花道に首相の座を勇退し、後進に道を譲るのか、はたまた別の流れがあるのか、大下氏自身も明言は避けたが、いくつかの展開が想定されていることだけは理解できた。併せて、人口減少や少子高齢化の更なる加速で地域が疲弊していくことに対して、政治が答えを出し切れていないことについての指摘も受けた。特に地域から、地方から国政に対して、地域の自立と持続可能性の確保の為に必要な施策を提言、提案し、地域から国を動かしていく視点が極めて重要であるとの助言があった。網走においてもそういった視点を根に置き、政策立案及び現場での実践に臨んでいく。